

事務事業評価シート

事務事業コード	025700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	安全安心まちづくり推進事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等
施策	4102	防犯・交通安全対策の充実		鳥取市安全で安心なまちづくり 基本計画・実施計画	
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	交通事故発生件数	341件	304件	ソフト(任意)	
		0	0	運営方法	補助金交付
予算	予算事業名	安全安心まちづくり推進事業費		会計区分	一般会計
	予算事業コード			01-02-01-11-23-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市の安全で安心なまちづくり (防犯)
意図 (どのような状態 にするために)	市民との協働により、市民が安全で安心して暮らせる犯罪のないまちとすることを目的とする。
手段 (どうするか)	防犯担当職員を配置し、各地区防犯協議会との連絡調整や支援、自主防犯活動団体の活動支援、防犯講座の開催、自主防犯活動団体ネットワーク会議の開催等を行い、市民自らが行う防犯活動の支援や防犯意識の啓発を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別実績	①啓発活動(広報紙の発行、防犯ビデオの貸出)の実施、自主防犯活動団体等のリーダーの養成・指導 ②自主防犯活動ネットワーク会議の開催	①啓発活動(広報紙の発行、防犯ビデオの貸出)の実施、自主防犯活動団体等のリーダーの養成・指導 ②自主防犯活動ネットワーク会議の開催 ③防犯活動功労者への表彰	①啓発活動(広報紙の発行、防犯ビデオの貸出)の実施、自主防犯活動団体等のリーダーの養成・指導 ②自主防犯活動ネットワーク会議の開催 ③防犯活動功労者への表彰	①啓発活動(広報紙の発行、防犯ビデオの貸出)の実施、自主防犯活動団体等のリーダーの養成・指導 ②自主防犯活動ネットワーク会議の開催 ③防犯活動功労者への表彰	①啓発活動(広報紙の発行、防犯ビデオの貸出)の実施、自主防犯活動団体等のリーダーの養成・指導 ②自主防犯活動ネットワーク会議の開催 ③防犯活動功労者への表彰
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,959	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,959	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,959	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	自主防犯活動団体ネットワーク会議	回	目標	6
			実績	6	0	0	0	0
	(指標の説明) 自主防犯活動団体相互及び警察等関係機関の連携強化を目的とした会議の回数(本会議、担当者会議)							
2	安全安心だよりの発行	回	目標	6	6	6	6	6
			実績	6	0	0	0	0
	(指標の説明) 自主防犯活動団体の活動等の情報共有を目的に発行する広報紙の発行回数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 近年の少子高齢化、都市化の進展等の社会環境の変化が犯罪に対する防止機能を低下させることから、本市では、平成18年に市並びに市民等が果たすべき犯罪防止に関する責務等を定めた「鳥取市安全で安心なまちづくり推進条例」を制定した。関係機関との連携を強化し、市民との協働による安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の成果】 ▼自主防犯活動団体や警察との情報交換・共有、該当啓発や防犯フォーラムへの協力等を通じて、関係団体相互の連携を深め、地域の実情に応じた安全で安心なまちづくりを推進する。 ▼危機管理課に防犯担当者を配置し、各地区防犯協議会の連絡調整及び支援を実施。 ・ 広報紙の発行 (6回)、防犯ビデオの貸出等の各種啓発活動の実施 ・ 安全で安心なまちづくりネットワーク会議の開催 (情報交換及び共有)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市における犯罪の発生件数は概ね減少の傾向にあるが、この傾向を維持するため、防犯に関する取り組みを継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	自主防犯活動団体ネットワーク会議	100%				
	2	安全安心だよりの発行	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	各地域における安全で安心なまちづくりネットワークは順調に広がっており、現在の活動等を継続することで、防犯意識の高揚を図るとともに犯罪防止に取り組む。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	ネットワーク会議の開催及び広報紙の定期的な発行等により、防犯に関する最新情報を共有し、各種団体との連携強化に繋がった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>本市における犯罪の発生件数は概ね減少の傾向にあり、この傾向を維持するため、防犯に関する取り組みを継続する。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	025801	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全活動促進事業(交通安全対策)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市交通安全計画、鳥取市 交通安全指導員設置規則
	施策	4102	防犯・交通安全対策の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交通事故発生件数		341件	304件	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	交通安全対策費(協働推進)			予算事業コード	01-02-01-09-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	交通安全対策の向上と市民の交通安全思想の高揚を図り、市内で発生する交通事故の件数を減らし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	自動車や自転車の利用者、歩行者など、それぞれの立場に立った交通安全に関する啓発活動を関係機関と連携し実施する。 特に、高齢者が当事者となる交通事故が増加していることから、高齢者宅訪問や高齢者を対象とした交通安全教室で、交通安全の声かけや反射材の着用を呼び掛ける。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 ②交通安全指導員の任命 ③高齢者交通安全対策事業	平成29年度 ①各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 ②交通安全指導員の任命 ③高齢者交通安全対策事業	平成30年度 ①各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 ②交通安全指導員の任命 ③高齢者交通安全対策事業	平成31年度 ①各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 ②交通安全指導員の任命 ③高齢者交通安全対策事業	平成32年度 ①各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 ②交通安全指導員の任命 ③高齢者交通安全対策事業	
	年度別実績	①交通安全運動の実施(4期) ②交通安全指導員の任命(新規3人) ③高齢者対象地域交通安全活動の実施(交通安全教室39件、高齢者宅訪問1,083人) ※事故発生件数 341件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,604	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,604	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,604	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		交通事故減少件数	件	目標	12	12	12	12	12	
			実績	21	0	0	0	0		
	(指標の説明) 1年間に市内で発生した交通事故減少件数(32年度までに304件以下とする)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【10次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 当初(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 交通安全基本法に規定される自治体の責務として策定された交通安全5ヵ年計画を実施することにより、市民生活における交通面での安全を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種交通安全関連機関、団体との連絡調整 2. 交通安全指導員の任命 定員：130名(実数122名) 任期：平成27年4月～平成29年3月(2年間) 3. 交通安全運動の実施(年4回) 4. 交通安全大会の実施(年1回) 5. 啓発、研修、講演会等の実施 6. 高齢者対象交通安全教室の実施 7. 高齢者交通安全教育訪問事業の実施 <p>【今後の課題・方向性】 2016年の全国的な交通事故死者数は、65歳以上の高齢者が半数以上を占めている。高齢者による事故を減らすためにも、高齢者交通安全対策の取り組みを推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	交通事故減少件数	175%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	2016年の全国的な交通事故死者数は、65歳以上の高齢者が半数以上を占めている。高齢者による事故を減らすためにも、高齢者交通安全対策の取り組みを推進する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	025802	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全活動促進事業(交通安全対策協議会)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市交通安全計画
	施策	4102	防犯・交通安全対策の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交通事故発生件数		341件	304件	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市交通安全対策協議会補助金			予算事業コード	01-02-01-09-05-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市交通安全対策協議会
意図 (どのような状態 にするために)	交通安全対策の向上と市民の交通安全思想の高揚を図り、市内で発生する交通事故の件数を減らす。
手段 (どうするのか)	交通安全対策協議会及び交通安全保護者の会が実施する事業に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①交通安全運動の実施 ②交通安全大会の実施 (交通安全功労者等の表彰)	①交通安全運動の実施 ②交通安全大会の実施 (交通安全功労者等の表彰)	①交通安全運動の実施 ②交通安全大会の実施 (交通安全功労者等の表彰)	①交通安全運動の実施 ②交通安全大会の実施 (交通安全功労者等の表彰)	①交通安全運動の実施 ②交通安全大会の実施 (交通安全功労者等の表彰)	
	年度別実績	①交通安全運動の実施 (4期) ②交通安全功労者等の 表彰(個人3人、団体 2団体)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,239	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,239	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,239	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	広報活動等の実施回数	回	目標	300	300	300	300	300
				実績	304	0	0	0	0
	(指標の説明) 交通安全に関する広報、交通安全教室等の実施回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【10次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 当初(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 交通事故の減少、意識の高揚には、地域や関連団体の協力が不可欠であり、それらにより組織される団体を支援するもの。</p> <p>【事業の成果】 市内における交通の円滑化と安全に関する諸問題について協議し、対策を推進することにより、交通事故の減少を図るとともに、交通安全思想の高揚に効果をあげている。 (1) 鳥取市交通安全対策協議会(合併前の市町村単位で9地区会を組織) (事業の内容) 1. 交通安全運動の実施(年4回) 2. 多発警報発令時などの各種啓発活動の実施 3. 交通安全大会の開催(年1回) 4. 交通安全功労者・団体表彰 など (2) 鳥取市交通安全保護者の会連合協議会(合併前の市町村単位で7地区会を組織) (事業の内容) 1. 各地域での交通安全啓発活動 2. 交通安全研修会の実施 3. 交通安全に係る施設点検</p> <p>【今後の課題・方向性】 交通事故の傾向、状況を適宜見定め、より効率的かつ効果的な会の運営、事業計画を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	広報活動等の実施回数	101%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

交通事故の傾向、状況を適宜見定め、事業を行っていく。

事務事業評価シート

事務事業コード	025803	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	交通安全活動促進事業(交通安全指導員会)		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市交通安全指導員設置規則
	施策	4102	防犯・交通安全対策の充実			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交通事故発生件数		341件	304件	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市交通安全指導員会補助金		予算事業コード	01-02-01-09-05-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	交通安全指導員
意図 (どのような状態 にするために)	道路交通の安全保持及び安全運動の推進を目的に設置されている鳥取市交通安全指導員の資質向上を図り、交通安全の推進の一助とする。
手段 (どうするのか)	交通安全指導員が一体となって活動している鳥取市交通安全指導員会を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①交通安全指導、広報活動 ②通行の保護、誘導	平成29年度 ①交通安全指導、広報活動 ②通行の保護、誘導	平成30年度 ①交通安全指導、広報活動 ②通行の保護、誘導	平成31年度 ①交通安全指導、広報活動 ②通行の保護、誘導	平成32年度 ①交通安全指導、広報活動 ②通行の保護、誘導	
	年度別実績	①交通安全運動時の交通安全指導、広報活動(4期) ②市主催イベント時の歩行者等の誘導等					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	1,830	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,830	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,830	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		広報活動、イベント協力件数	回	目標	200	200	200	200	200
	(指標の説明) 交通安全運動時等の広報活動や市主催イベント等への協力件数				実績	213	0	0	0
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
	3	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【10次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 当初(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 交通安全指導員は、道路交通の安全保持及び交通安全運動の推進を図るため、昭和43年設置。地域において、毎日交通安全指導・啓発を実践し、交通安全思想の普及と交通道德の高揚に努めている。本会は、指導員により結成されたもの。 平成22年度より、各地区会へ交付する補助金の算定基準を(基本(100,000円)÷会員数(定数)割)とした。</p> <p>【事業の成果】 交通安全指導員が一体となって活動している鳥取市交通安全指導員会を支援することにより、一層の交通安全に寄与している。 1. 交通安全運動時、交通事故多発警報発令時などの街頭広報強化 2. 市主催行事等における交通安全指導協力 3. 視察研修の実施 (事業の実績) ・交通安全運動時の交通安全指導、広報 ・花火大会、マラソン等のイベントへの協力 ・交通安全研修施設での研修</p> <p>【今後の課題・方向性】 交通安全指導員が高齢化するとともに担い手が不足しており会員数が減少している。交通安全指導員の活動を広報するなどして、交通安全指導員が地域の交通安全活動の中心として今後も活躍できるように推進する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	広報活動、イベント協力件数	107%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>交通安全指導員が高齢化するとともに担い手が不足しており会員数が減少している。交通安全指導員の活動を広報するなどして、交通安全指導員が地域の交通安全活動の中心として今後も活躍できるように推進する必要がある。</p>							

事務事業評価シート

事務事業コード	025900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	交通安全施設事業		所属名	都市整備部	道路課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4102	防犯・交通安全対策の充実			
目標の 施策の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	交通事故発生件数		341件	304件	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	交通安全施設事業工事費			予算事業コード	01-07-02-04-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	カーブミラー、道路表示等の交通安全施設
意図 (どのような状態 にするために)	交通安全施設の整備、改修を実施することにより通行者の安全を確保するため
手段 (どうするのか)	地区要望や施設の現地調査に基づき歩道の改良、区画線等路面表示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）等の設置、修繕を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	平成29年度 ①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	平成30年度 ①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	平成31年度 ①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	平成32年度 ①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修	
	年度別実績	①交通安全施設整備 区画線、防護柵補修					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費		事業費(A+B)	18,306	0	0	0	0
		直接経費 A	18,306	0	0	0	0
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	18,306	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		・交通安全施設整備 区画線総延長	m	目標	7539	7539	7539	7539	7539	
				実績	7539	0	0	0	0	
			(指標の説明) 交通安全施設整備の対象としている路線距離							
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、3263
	【10次総の施策体系】4102
	【予算計上の経過】 平成18年度に行った危険度調査には、ガードレール、反射ポール(デリニエーター)は含まれていない。修繕を行うにあたり、これら施設の現状の把握が必要である。 なお街路灯、カーブミラー、標識は調査対象であったため、その状態を把握しており、今後、損傷判定結果を勘案し、計画的に修繕していく。
	【事業の概要】 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、交通安全施設(カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等)の設置、修繕を行う。
	【事業の効果】 交通安全施設(カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等)の設置、修繕を行うことで、安全の確保を行う。
【今後の課題・方向性】 現状を把握し計画的に修繕を行う。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	交通安全施設整備 区画線総延長	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

道路の交通安全施設の整備は、車両は基より通行者の安全向上につながるものである。カーブミラー等の設置の地区要望が多く、危険度に応じて優先順位を決め、計画的に実施する。交通安全施設を適切に管理することで、利用者の安心安全を確保する。

事務事業評価シート

事務事業コード	026000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	防犯灯設置事業		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4102	防犯・交通安全対策の充実				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	交通事故発生件数		341件	304件	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	防犯灯設置費			予算事業コード	01-02-01-11-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	防犯灯
意図 (どのような状態 にするために)	夜間における市民の安全な通行を確保するとともに、更新時にはLED化を推進するため
手段 (どうするのか)	設置、更新、取替を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別計画		①防犯灯の設置(新規) ②防犯灯の取替、更新 (LED化)	①防犯灯の設置(新規) ②防犯灯の取替、更新 (LED化)	①防犯灯の設置(新規) ②防犯灯の取替、更新 (LED化)	①防犯灯の設置(新規) ②防犯灯の取替、更新 (LED化)	①防犯灯の設置(新規) ②防犯灯の取替、更新 (LED化)
年度別実績		①防犯灯の設置(新規) 149基 ②防犯灯の取替、更新 (LED化) 1,513基					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	25,132	0	0	0	0	
	直接経費 A	25,132	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	734	0	0	0	0
		地方債	17,100	0	0	0	0
		その他	3,440	0	0	0	0
一般財源	3,858	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	防犯灯等設置数	基	目標	172	172	172	172	172
				実績	149	0	0	0
(指標の説明) 新規で設置した防犯灯の数								
2	防犯灯等取替・更新数	基	目標	750	750	750	750	750
				実績	1513	0	0	0
(指標の説明) 蛍光灯からLEDに取替した数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【10次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・45（企021）</p> <p>【事業の概要】 防犯灯等の設置により、夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大を図る。さらに、防犯灯等をLED化し、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく維持管理の容易な照明を普及し、夜間の安全な通行を確保する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の新規設置 平成26年度 239基 平成27年度 221基 平成28年度 149基 ・防犯灯の取替・更新（LED化） 平成26年度 993基 平成27年度 1,233基 平成28年度 1,513基 <p>【今後の課題・方向性】 防犯灯設置は、整備コストを行政が負担し、維持管理費を地元が負担することとしており、この事業推進は、地域の自立性を高め、かつ防犯・防災意識の向上が期待される。またLED化は、地元負担となる維持管理費の低減につながる。引き続き、地域の要望に応じながら整備を進める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	防犯灯等設置数	87%				
	2	防犯灯等取替・更新数	202%	202%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>防犯灯設置は、整備コストを行政が負担し、維持管理費を地元が負担することとしており、この事業推進は、地域の自立性を高め、かつ防犯・防災意識の向上が期待される。またLED化は、地元負担となる維持管理費の低減につながる。引き続き、地域の要望に応じながら整備を進める。</small></p>		